

2019年2月27日

報道機関各位

株式会社北日本銀行
株式会社岩手銀行

第16回「リエゾン-I 研究開発事業化育成資金」の贈呈について ～「いわて産学連携推進協議会（リエゾン-I）」の取組み～

北日本銀行（頭取 柴田克洋）、岩手銀行（頭取 田口幸雄）では、両行が参画する「いわて産学連携推進協議会（リエゾン-I）」のおもな活動として取り組んでいる「研究開発事業化育成資金」贈呈事業において、16回目となる今年度の贈呈先を決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 今年度の贈呈先について

(1) 贈呈先企業

今年度は、10社に対し1,350万円の贈呈を行いました。

企業名	代表者	共同研究機関	贈呈金額
(株)シオン	石川 公一郎	岩手県林業技術センター	200万円
白石食品工業(株)	白石 雄一	農研機構 東北農業研究センター	150万円
(株)サンアイ精機	菊地 晋也	独立行政法人 岩手県工業技術センター	150万円
(株)エイシング	出澤 純一	国立大学法人 岩手大学	150万円
岩手製鉄(株)	佐藤 満義	独立行政法人国立高等専門学校 一関工業高等専門学校	150万円
及源鋳造(株)	及川 久仁子	独立行政法人 岩手県工業技術センター	150万円
(株)フェニックス	藤村 信二	独立行政法人 岩手県工業技術センター	100万円
小野食品(株)	小野 昭男	岩手生物工学研究センター・岩手医科大学	100万円
大林製菓	大林 璋三	独立行政法人国立高等専門学校 一関工業高等専門学校	100万円
かねご製餡(株)	中居林 達也	国立大学法人 岩手大学	100万円

※ 贈呈対象となった具体的な事業計画等詳細は、別紙『「第16回リエゾン-I 研究開発事業化育成資金」贈呈先一覧』のとおり

(2) 現在までの贈呈実績

第1回から第16回までの贈呈件数金額は、延べ109件1億4,800万円となりました。

(3) 贈呈式の開催

2019年2月27日（水）に岩手大学構内（コラボMIU）で開催され、金融機関を代表して岩手銀行田口頭取より10社の代表者に認定証の授与および目録の贈呈を行いました。

2. 「いわて産学連携推進協議会（リエゾン-I）」について

(1) 大学等の研究シーズ（新たな技術等）と企業の技術・製品開発等のニーズをマッチングさせることにより新事業の創出を図ることを目的に平成16年5月に設立し、現在、3金融機関と10研究機関が参画しています。

(2) 「リエゾナー I マッチングフェア」の開催、岩手銀行と北日本銀行による「リエゾナー I 研究開発事業化育成資金」の贈呈等を主な活動としています。

3. 「リエゾナー I 研究開発事業化育成資金」の贈呈について

(1) 創設目的

- ① 企業等が有する技術・製品開発等のニーズと大学等が有する高度な技術研究成果とを共同研究等を通じてマッチングさせることにより、「事業の多角化」や「新たなビジネス創出」を積極的に支援するものです。
- ② また、この育成資金を呼び水として、大学等にある「事業の芽」「技術の種」を企業等が事業化に向けて研究開発に積極的に取組むことを期待するものです。

(2) 対象先

- ① 「リエゾナー I」に参加している研究機関との共同研究により新たな事業化を目指している企業等で、企業等の所在地域は、岩手県、青森県、秋田県、宮城県とします。
- ② なお、地域の中小企業支援の観点から、証券取引所上場会社およびそのグループ企業等は、原則として応募できません。
- ③ すでに受賞したことがある企業は原則として申請できませんが、つぎの条件を満たす場合のみ対象とします。
 - a 過去に受賞した事業計画の内容と重複していないこと
 - b 過去に受賞した事業がすべて事業化されていること

(3) 贈呈金額

- ① 年間贈呈額 1, 500 万円を上限とします。
- ② 1 先あたり 200 万円を上限とします。

以上

【贈呈式の様子：受賞企業の代表者とリエゾナー I 支援機関との記念撮影】



< 本件に関するお問合わせ先 >

北日本銀行営業統括部 菊池 TEL：019-626-6482
岩手銀行法人戦略部 品川 TEL：019-624-7016

「第16回リエゾン - I 研究開発事業化育成資金」贈呈先一覧
(2019年2月27日贈呈)

株式会社 シオン

代表者：代表取締役 石川 公一郎

住所：岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-8-1

事業計画名：木材に防火効果を付加する塗料の開発ならびにそれを浸漬処理することによる防火木材の開発

共同研究者：岩手県林業技術センター 谷内 博規

計画の要約：建物の火災の延焼、倒壊を防ぐことを目的として、建築基準法では防火木材を用意しており、この防火木材は専用の装置を使って作るため、製造に手間がかかり、価格も著しく高いという課題がある。今回、木材に防火効果を付加する塗料を開発し、これを活用すると専用の装置は不要で、漬け込み処理のみで防火木材の製造が可能となる。近年、建物への国産材の利用が進む中、その利用促進の貢献を目指す。

贈呈金額：200万円

白石食品工業 株式会社

代表者：代表取締役社長 白石 雄一

住所：岩手県盛岡市黒川23地割70-1

事業計画名：もち性小麦「もち姫」を使った全国初の食パンの量産研究開発

共同研究者：農研機構 東北農業研究センター

企画部産学連携室 室長 渡辺 満

計画の要約：東北農業研究センターで世界に先駆けて開発されたもち性小麦「もち姫」を使って食パンを作り商品化を行う。量産体制に対応する製造方法を研究し、最終的に工場生産による一般市場への上市を目指す。

贈呈金額：150万円

株式会社 サンアイ精機

代表者：代表取締役 菊地 晋也

住所：岩手県奥州市江刺愛宕字金谷127-1

事業計画名：永久磁石を用いた加速器用磁気回路の開発

共同研究者：地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

主任専門研究員 目黒 和幸

計画の要約：国際リニアコライダー等の粒子加速器において、ビーム輸送系には多くの電磁石が使用されており運転経費の増大が問題となっている。これらの電磁石を、永久磁石を用いた磁気回路に置き換えることにより、大幅な運転経費のコストダウンを行おうというものである。

贈呈金額：150万円

株式会社 エイシング

代表者：代表取締役 出澤 純一

住所：東京都港区赤坂6-19-45 赤坂メイクビル1F

事業計画名：独自Edge AIを活用したチップとSaasサービスの展開

共同研究者：国立大学法人 岩手大学 システム創成工学科 准教授 金 天海

計画の要約：Raspberry Piのような安価で限られた計算能力においてもマイクロ（10⁻⁶）秒のオーダーで学習と予測を一定時間内に処理することが可能な機械学習アルゴリズム Deep Binary Tree (DBT) をセキュアに実装したチップを用いてDBTのライセンス提供とDBT開発環境をSaaS形式で、国内外の製造業、特に自動車、FA機器、電気製品などの分野に提供していく。

贈呈金額：150万円

岩手製鉄 株式会社

代表者：代表取締役社長 佐藤 満義

住所：岩手県北上市和賀町藤根18地割14番地

事業計画名：ILCクライオモジュール架台精密位置決め用アクティブムーバーの開発

共同研究者：独立行政法人国立高等専門学校 一関工業高等専門学校

未来創造工学科 機械・知能系 准教授 藤原 康宣

計画の要約：ILCクライオモジュールの外筒と架台の間に設置され、約6トンの重量を支え、かつパワーアシスト機能によりXYZ方向に数ミクロン単位での自動位置調整を行うムーバーを開発する。

贈呈金額：150万円

及源鋳造 株式会社

代表者：代表取締役 及川 久仁子

住所：岩手県奥州市水沢区羽田町字堀ノ内45

事業計画名：デジタルシボ活用による南部工芸鉄器の意匠設計技術の構築

共同研究者：地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

素形材技術部 3Dものづくり班 工学博士 和合 健

計画の要約：本研究は、シボ模様が人工的に表面付与されたいわゆるシボを、南部鉄器製「鍋」「鉄瓶」「鉄急須」等の調理器具にパソコンと工作機械を使ってシボ模様を作製する方法を構築するもの。この技術は「デジタルシボ」と呼ばれ、独自意匠を自己製造できることが最大の利点であり、3次元CADを用いたシボ模様設計、デジタルデータ化及び精密加工機を使用した凹凸の削り出しで製品表面に高品質シボ模様を再現する技術開発を行う。

贈呈金額：150万円

株式会社 フェニックス

代表者：代表取締役 藤村 信二

住所：岩手県盛岡市上堂3-8-44 プリシード第1ビル2F

事業計画名：車内販売用パワーアシストワゴンの開発

共同研究者：地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

電子情報技術部 部長 高橋 強

電子情報技術部 主任専門研究員 箱崎 義英

計画の要約：鉄道車両等による車内販売では、加減速や横揺れしている車内において、ワゴンを操作しながら商品を販売することが重労働となっている。当開発品は、見かけの重さを可変させ、あたかも軽いワゴンのように操作できる「作業者と協調可能な制御」により、外乱のある

中でも、安全かつ容易に安定した搬送作業を可能とした。今回の贈呈金は、現在の問題点の解決と、販路開拓に向けた費用に充て、製品化に向け取り組んでいく。

贈呈金額：100万円

小野食品 株式会社

代表者：代表取締役 小野 昭男

住所：岩手県釜石市両石町4-24-7

事業計画名：ナマコを原料とした高機能介護食品の開発

共同研究者：岩手生物工学研究センター 研究部長 矢野 明

岩手医科大学 歯学部 教授 岸 光男

計画の要約：高齢化人口は増加の一途をたどり、高齢者が健康で活力ある生活を営むことのできる社会構築が日本全体として大きな課題となっている。後期高齢者やガン治療中の方々が直面する口腔トラブルが「口腔カンジダ症」で、悪化するとわずか数日で水さえも飲めない症状になるケースも報告されている。本事業では、ナマコの持つ口腔粘膜保護作用及び「カンジダ抑制機能と、滋養強壮機能を生かした新しい介護食品を開発するものである。

贈呈金額：100万円

大林 璋三（屋号：大林製菓）

住所：岩手県一関市山目町1丁目7-12

事業計画名：無添加による柔らかい餅のカビ防止技術の開発

共同研究者：独立行政法人国立高等専門学校 一関工業高等専門学校

未来創造工学科 科学・バイオ系 准教授 照井 教文

計画の要約：特許技術であるウルトラファインバブルを使用した、無添加で柔らかい餅の保持期間を2日間から5日間に改善する。現在の製造生産方式を新たな衛生管理工場に移行し、カビ発生抑制技術等の改善を行い、常温で手軽に利用できる、無添加の搗き立て食感の餅を開発する。

贈呈金額：100万円

かねご製餡 株式会社

代表者：代表取締役 中居林 達也

住所：青森県八戸市南類家1丁目11番3号

事業計画名：低糖質食品に用いるショ糖代替素材の開発

共同研究者：国立大学法人 岩手大学 農学部 教授 三浦 靖

計画の要約：糖尿病やその予備軍が急激に増加している現代において、「予防医学」という観点からも低糖質食品は世の中に求められている。弊社も平成27年から「低糖質和菓子」の開発を進めてきたが、砂糖の代替素材は高価であり販売価格を押し上げてしまう。今回の研究で更なる低糖質化を進めることで、販売価格を相対的に抑えることができ、また様々な食品にも応用可能となる為、低糖質食品の拡大に寄与すると思われる。

贈呈金額：100万円

以上